

演 題：夢の実現～後悔しない選択が昨日より今日の自分をつくる～

ー今を、そして未来を変えるために！ー

期 日：令和7年9月8日（月） 会 場：八戸商業高等学校体育館

期 日：令和7年9月9日（火） 会 場：八戸工業大学第二高等学校体育館

【講演の記録】

講演者の天摩由貴さんは、生まれつき視覚障がいを持ちながらも、八戸での幼少期から東京での学生生活、そしてパラリンピックを目指すまでの道のりについて語っていただきました。お母様の影響で商業高校に興味を持ち、視覚障がい者としての教育環境や盲学校での学びを通じて、自分の可能性を広げたいという強い思いが芽生えたそうです。高校進学を機に東京へ移り、寮生活や部活動を通じて仲間との絆を深め、特に陸上競技に情熱を注がれました。高校時代に出場した全国大会での悔しい経験が、さらなる向上心を生み、パラリンピックを目指すきっかけとなったと語られました。大学では数学を専攻しながらも、陸上競技に打ち込み、勉強と競技の両立に励まれました。講演では、視覚障がい者の多様な見え方や、見えなくても工夫次第で安全に学び、挑戦できることを伝え、「自分の可能性を信じて一步踏み出すことの大切さ」を高校生たちに力強く語りかけていただきました。

大学進学後、天摩さんはアジアユースパラ大会に出場し、金メダルを獲得されました。記録には満足できなかったものの、国際大会への第一歩となったそうです。翌年のアジアパラゲームズでは、失格による繰り上げで金メダルを獲得し、自己ベストも更新されました。これにより、パラリンピックへの可能性を実感されたとのこと。それまで苦手だった練習にも逃げずに向き合うようになり、「後悔しない選択」を意識するようになったと語られました。頑張るだけでなく、休むことも含めて自分にとって最善の判断をすることの大切さを学ばれたそうです。その結果、ロンドンパラリンピックに出場し夢を叶えられましたが、予選敗退という現実と直面し、メダル獲得の難しさを痛感されたとのこと。そして、陸上競技からの引退を決意されました。

大学院進学後は数学を学びながら教職を目指し、母校で非常勤講師として教壇に立たれました。そこでゴールボールへの誘いを受け、最初は戸惑いながらも挑戦を決意されました。練習では思うように動けず苦戦されたそうですが、周囲の選手の姿に刺激を受け、次第に競技の魅力に引き込まれていったと語られました。気づけば再びパラリンピックを目指す自分がいたそうです。

ゴールボール競技を始めた当初は、先輩に追いつこうと必死に努力されました。リオ大会では代表に選ばれたものの、試合に出られず悔しさを味わわれました。その悔しさをバネに東京大会を目指し、キャプテンとして挑まれましたが、試合中の怪我により思うような活躍ができず、深い悲しみと後悔を抱えられました。しかし、「神様は乗り越えられる人にしか試練を与えない」という言葉に支えられ、再び挑戦する決意を固められました。パリ大会では試合に出場

し、姉にもその姿を見てもらうことができたそうです。結果は6位でしたが、さらなる高みを目指し、現在はロス大会に向けて挑戦を続けていらっしゃいます。講演では、実際の銅メダルを手にとってもらいながら、後悔しない選択の大切さ、昨日を超える自分になることの意義を語ってくださいました。そして、生徒に勇気ある一歩を踏み出すことの重要性を伝えられました。挑戦の先には新たな出会いや経験があり、それが人生の宝物になると語られ、支えてくれる人の存在を力に変えて進んでほしいと力強く締めくくられました。